

選手、社員一丸となり、 ファンの皆さまに 喜んでいただける チームに進化します。

株式会社楽天野球団 代表取締役社長

たちばな ようぞう
立花 陽三氏

プロフィール

昭和46年1月10日生まれ。東京都出身。血液型A型。
平成6年慶應義塾大学を卒業後、ソロモンブラザーズ証券会社入社。その後ゴールドマン・サックス証券へ入社し、その間、慶應義塾大学ラグビー部コーチに就任。全国大学ラグビーフットボール選手権大会優勝にも尽力した。22年メリルリンチ日本証券へ。翌年常務執行役員に就任。退社後、24年8月1日より現職。好きな言葉は「勝つことのみが善である」。「これは大正製業の上原正吉さんの言葉であり、私の恩師である宿澤広朗さん（元ラグビー日本代表監督）が使われていた言葉です。「勝つ」という言葉は、今の私には特に重要です。きつい言い回しに聞こえるかもしれませんが、ご理解いただければありがたいです」と語る。



支えてくれる ファンあつめの球団

「社長を引き受けるまでの経緯を教えてくださいいただけますか。」

以前から、三木谷オーナー、前任の島田社長とは仕事上でもプライベートでもお付き合いがありまして、昨年の5月に食事を一緒にした際、突如、三木谷オーナーから「社長をやらないか」という話をいただいたのです。実はその少し前、友人と一緒に女川にボラントピアとして伺いました。震災後、初めて被災地に入り、いろいろなことを考えさせられていた時でもありましたので、このお話をいただいた時に、ご縁があるのかなと思ったのです。また、私はずっとラグビーをやっていて、スポーツ自体に興味がありましたので、「セ・パ両リーグ合わせて」12分の1であるプロ野球球団の社長を引き受けるのも面白いな」と思ったのも確かです。

「球団経営の「軸」を、どのようにとらえていらっしゃいますか。」

まず野球の経営も、一般企業の経営も本質はあまり変わらないと思っています。確かにプロ野球球団ということでの注目度は高いですが、基本的には「お客さまを大切に」「満足していただく」環境をつくるのが最も大切で、それが球団経営の軸になるものだと思います。そもそもファンの

方々が支えてくださらなくては、われわれのようなプロスポーツチームは成り立ちません。

風通しのよい環境で 一体感を強化

「具体的に、どのような取り組みを行っているのですか。」

「他の球団にないものをつくらう」と、社員には働きかけています。これについては星野監督とも話をしています。今年は「チームと選手、職員全員が1つのチーム、家族である」という認識のもと、それぞれの仕事に取り組みとうと。

まず、お客さまの声を直接聞くことができるのは、チケット販売を行っているスタッフや、ビールを売っている人たちなのですが、これまでは、彼らが聞いたお客さまの声を、選手に届ける仕組みがありませんでした。このような小さなことを一つ一つかなえられるような仕組みをつくり、選手だけでなく、伝えたい所に大切なことが伝わる風通しのいい会社になろうと思っています。このことを徹底するために、私は「respect each other（互いを尊敬しよう）」という言葉をよく使っているんです。

また、選手が強くなるには、人間力を高めることから始めるべきだと考えています。若い選手も多く在籍していますので、ファンの方々を大切にす



JR仙台駅で行われた2013シーズン壮行式（1月31日）。久米島キャンプに出発する選手たちに向け、約1,500人のファンが「優勝」への期待を込めて声援を送った。

る気持ちや養うために、あいさつの仕方から教育しています。
 そして昨年、イーグルスの選手だった草野大輔という選手が現役を退いて球団の職員となり、現在「アンバサダー」として活躍しています。彼には、お客さまにご満足いただくにはどうすればよいのか、社員たちが日々議論し実践している姿をしっかりと見てもらい、その情熱を、彼の言葉で選手たちに伝えてもらう役割を担ってもらっています。これは選手、社員、スタッフの一体感を生み出すのに、とても効果があると思っていますよ。

まちの活性化に寄与 一人でも多くのファン獲得

―地元密着型の球団として、商店街をはじめとするまちの活性化については、どのようにお考えですか。

地元企業の皆さまはじめ、商店街の皆さまには、強力なサポートをいただき感謝しております。しかし、私はそのお返しがまだできていないのではないかと感じているのです。例えば、商店街の方々とコミュニケーションを取れるような機会は、もっとあってしかるべきだと思っています。そして、もっともっとイーグルスファンを増やさなければならぬと思っています。お恥ずかしい話なのですが、昨年の観客動員数は両リーグ合わせて下から2番目でした。これはわれわれの努力不足が招いた結果です。私たちが積極的にファンの皆さまと接点を持つことで、この熱い思いを伝えなくてはならないと思っています。そのような場づくりに関しても、皆さまからアイデアをいただけたらうれしいですね。

―今シーズンの抱負をお聞かせください。

これまで積み重ねてきたものをもとにして、より進化させたいと考えています。今季はアンドリュー・ジョーンズ外野手とケーシー・マギー内野手、投手の斎藤隆が新たに加わりました。課題であった右打者の補強ができ、斎

藤隆はストッパーもしくはクローザーとしての活躍が期待できます。さらには彼は地元仙台出身です。宮城に対しては、並々ならぬ熱い思いをもっていますので、必ずや活躍してくれると思います。

2人の外国人選手に関しては、ニューヨークヤンキースで4番、5番を打っていた逸材。素晴らしい選手が獲得できたと思います。

社長就任以来、「優勝にしか興味がない」と私自身ずっと言ってきたわけですが、その真意は「星野監督を胸上げたい」、「応援してくださるファンの皆さまに恩返しをしたい」という思いに他なりません。ぜひ球場に足を運んで、チームの変化をじかに感じてください。

【概要】

(株)楽天野球団

設立：2004年10月29日
 代表者：代表取締役社長 立花 陽三
 事業内容：プロ野球チーム「東北楽天ゴールデンイーグルス」の運営、ほか関連事業
 資本金：4億円
 従業員数：127人（2012年12月現在）
 所在地：宮城県仙台市宮城野区宮城野2-11-6
 TEL. 050-5817-8195
 ホームページ：http://www.rakutenagles.jp/



『森』は生きています。人間と共に。

二酸化炭素を酸素に。人間にとって欠かせない酸素を、人間が吐き出した二酸化炭素から作り出す植物たち。この自然のサイクルを、一本の木を、そして森全体を、見守っていかなくては……。そう私たちは考えています。私たちは青葉環境保全です。

より良い環境をめざす
AOBA 青葉環境保全
 本社/仙台市若林区蒲町19-1 電話(022)286-3161(代)